

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Rotary club presidents and secretaries



インスピレーションになるう

ガバナー月信 Vol.5

国際ロータリー第2840地区〈群馬〉2018-2019年度

ロータリー財団月間



2018 11

宮内ガバナー事務所
群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F
TEL 027-212-2840
FAX 027-212-2841

目次

ガバナーメッセージ	01
RLIセミナー Part I	03
第2回ガバナー諮問委員会	05
第3回ガバナー補佐・委員長合同会議	06
米山記念奨学生カウンセラー研修会	07
米山研修セミナー	08
地区指導者育成セミナー	09
RI会長代理歓迎晩餐会	10
地区大会	11
懇親会	15
群馬県ロータリークラブ野球大会 開会式	17
会員寄稿「OUR WORLD IS SMALL」	19
ぐんま経済新聞掲載企画について	20
ガバナー公式訪問要領・日程表	23
年間行事予定表	25
周年行事予定クラブ	28
新会員紹介・訃報	29
文庫通信	31
出席報告	32
コラム	33
森田ガバナーエレクトからのお知らせ	37
ハイライトよねやま	38
ガバナー事務所よりお願い	40

ガバナーメッセージ

国際ロータリー 第2840地区
2018-2019年度ガバナー
宮内 敦夫

RI特別月間テーマ：「ロータリー財団月間」

10月6日(土)、7日(日)に開催いたしました第2840地区の「地区大会」に1,000名を超える会員の皆様にご登録をいただき、ご参集いただき、誠にありがとうございました。プログラムの不備、運営上の不手際が多々ございましたが、大会実行委員会の努力に免じてお許しいただきたいと存じます。

RI会長代理高野孫左工門様ご夫妻をお迎えし、「地区指導者育成セミナー」と本大会においては、懇切丁寧なご指導を頂きました。「地区指導者育成セミナー」においては、「ロータリーにおける不易と流行」と題してご講演をいただきました。「敵に塩を送る」という有名な逸話があります。戦国時代、遠江の今川と相模の北条の両氏から武田信玄が、経済封鎖をされ塩不足で困窮していたとき、長年敵対関係にあった上杉謙信が武田信玄に塩を送って助けたという話です。甲州の武田信玄の命を受け、1568年敵国上杉謙信の領地越後まで赴き、塩を買い受けてきた人物が初代の塩屋孫左工門、その18代目当主が高野様だそうです。褒賞として、信玄公から頂いた一字「吉」（当時の甲州通貨の裏にある刻印）をいただき、それを屋号として「吉字屋」と呼称し、今日に至っているそうです。塩から始まり、油の商いに拡大し、今日まで変化を恐れず進み、今では石油製品、自動車のディーラーも含む総合商社へと規模を拡大してきたそうです。450年の長い歴史の中で、時代が変わろうと変えてはならないもの（不易）と時代の要求に応じて変えるべきもの（流行）がある。これを枕として、お話はロータリーに移りました。2017-2018年度RI会長イアン・ライズリー氏のテーマは「ロータリー：変化をもたらす」でした。ロータリーにも変えてはならない伝統的価値観と時代に即応した変化があります。そのことについてご講演をいただいた次第です。併せて、当地区の危機管理委員会委員長森田均PGには、「ロータリアンのための危機管理」と題してご講演をいただきました。示唆に富む有意義なお話でありました。

RI会長代理歓迎晩さん会においては、高野様はロータリーの友情と温厚なお人柄をもって、地区内外のご来賓と当地区の参加者各位と歓談をしてくださいました。

RI元理事重田政信様ご夫妻をはじめ、当地区のパストガバナー、令夫人様にはご遠方よりお出でいただき、最後まで見守っていただきありがとうございました。

さて、今月は「ロータリー財団」月間です。寄付金目標を150ドル以上とさせていただきます。今、ガバナー公式訪問の最中ではありますが、いずれのクラブも目標値を達成すべくご尽力して下さっております。心より感謝申し上げます。

RI特別月間テーマ：「ロータリー財団月間」

当地区のロータリー財団委員会の事業には、資金を集める事業（資金推進委員会）とロータリー財団から配分される資金（DDF）を使って奉仕活動を実施する事業（地区補助金委員会、グローバル補助金委員会）があり、それに加えて、事業資金を管理する資金管理委員会があります。

当地区では、夢計画の開始（2012-2013年度）以来、地区補助金事業を全46クラブ実施することを目標に進み、5年目で全クラブが実施しました。6年目の昨年度は分区中心の共同事業も多く企画されました。今年度より、地区補助金の分配基準を変えました。また、かねて要望のあった継続事業についても、可能な限り認めることとしました。グローバル資金には余裕があります。クラブ単独でも、他クラブと合同でも可能ですので、多くのクラブがチャレンジしてください。

「世界に良いことをしよう」これが奉仕の原点です。地域社会あるいは海外支援を問わず、相手のニーズに応えるもの、お仕着せではないものでなければなりません。事前調査研究を綿密に行うことが大切です。今年も多くの奉仕事業が申請されることを期待しております。

RLIセミナー Part I

開催日：平成30年9月16日(日) 9:30～17:00

場 所：前橋問屋センター会館 2F

報告者：地区副幹事 山本 樹

司会：RLI推進委員会 委員 田部井丑松

ディスカッションリーダー25名 RLI受講者53名で行われました。

開講式では宮内ガバナー挨拶の後、竹内地区研修リーダーによる挨拶・趣旨説明が行われ、本田RLI日本支部ファシリテーション委員会副委員長がガイダンスをしてくださり、各セッションに分かれて6時限のセミナーが開始されました。

第1セッションでは「リーダーシップの本質をつかむ」、第2セッションでは「私のロータリー世界」、第3セッションでは「会員を引き込む」、第4セッションでは「ロータリー財団 I 私たちの財団」、第5セッションでは「奉仕プロジェクトを創造する」、第6セッションでは「倫理と職業奉仕」が開かれました。ローテーションで全参加者が6セッション6時限のディスカッションを行いました。

最後に、全体で閉会式が行われ、Part I の修了証授与式が行われ、年をまたいで今回で終了となった2名に終了バッチ授与が行われました。田中研修委員会副委員長の閉会挨拶でRLIパートIが終了となりました。

受講者は、アンケート記入、参加評価書を提出したのち解散となりました。

次回Part II は10月28日(日)



開会式



Part I 修了証授与



ガイダンス



第1セッション



第2セッション



第3セッション



第4セッション



第5セッション



第6セッション

第2回ガバナー諮問委員会

開催日：平成30年9月22日 10:00～11:30

場 所：前橋商工会議所

報告者：地区幹事 小暮 雅丈

国際ロータリー第2840地区のPastガバナー15名(諮問委員)、宮内ガバナー、森田ガバナーエレクト、小暮・新井地区幹事、齊藤会計長、上野・高橋財務委員、滝野瀬地区大会副実行委員長、計23名が出席し、第2回ガバナー諮問委員会が開催された。宮内ガバナーは挨拶の後、議長として会議を進行しました。

【ガバナー挨拶】

【諮問事項】

- 1、 西日本豪雨義捐金の振り分けについて
地区内クラブからの義捐金 2,046,652円を2670地区(愛媛・香川・高知・徳島)、2690地区(岡山・島根・鳥取)、2710地区(広島・山口)の3地区に等分して送金する。
- 2、 北海道胆振東部地震義捐金依頼について
地区災害対策積立金 100万円を取崩し早急に送金し、後日地区内クラブに一人当たり500円を目途に義捐金を募る。
- 3、 地域社会奉仕「ブライダル委員会」新設について
RC会員関係の婚活事業を他地区(熊谷等)の活動を研究し、実施を検討する。
- 4、 その他
 - ・会計ソフト導入の件について
年度が替わる度にその年度独自の考え方で会計を処理してきたが、一貫性がない。
会計ソフト導入により省力と一貫性を確保したい。

【報告事項】

- 1、 地区指導者育成セミナーについて
 - ・タイムスケジュール
 - ・会場レイアウト
- 2、 地区大会について
 - ・タイムスケジュール
 - ・大会委員会報告
 - ・地区大会決議
 - ・受付場所
 - ・会場レイアウト
- 3、 ガバナー公式訪問経過報告
- 4、 IM開催予定
- 5、 その他



第3回ガバナー補佐・委員長合同会議

開催日：平成30年9月22日(土) 12:00～
場 所：前橋商工会議所会館 3F リリー
報告者：地区副幹事 山本 樹

司会 地区副幹事 谷田川 敏幸

43名参加のもと第3回ガバナー補佐・委員長合同会議が開催されました。

宮内ガバナーの挨拶後、今年度の地区大会内容について小暮幹事及び滝野瀬地区大会副実行委員長より報告されました。

宮内ガバナーより「ロータリーの友」購読状況、西日本豪雨災害義捐金報告及び北海道胆振東部地震義捐金依頼について説明がされました。

委員会報告では、資金推進委員会の町田 久委員長が各クラブ寄付目標進捗状況を説明され、グローバル補助金委員会の津久井 功委員長はグローバル補助金奨学生の帰国報告をしました。その後、帰国した奨学生の丹波 小桃さんより、プロジェクターを使用してイギリス留学で学んできた内容やイギリスでの学生生活を説明頂きました。

質疑応答が行われた後に閉会となりました。



ガバナー挨拶 宮内 敦夫 ガバナー



委員会報告 町田 久 資金推進委員長



委員会報告 津久井 功 グローバル補助金委員長



グローバル補助金奨学生帰国報告 丹波 小桃 奨学生

米山記念奨学生カウンセラー研修会

開催日：平成30年9月30日(日) 10:30～12:00

場 所：前橋問屋センター会館

報告者：地区副幹事 小池 敏郎

司会：大友 一之

米山記念奨学生カウンセラー研修会がロータリー関係者15名、米山カウンセラー11名で開催されました。

宮内ガバナー・高木 貞一郎米山記念奨学会理事の挨拶に始まり、続いて岡田 敏郎(太田RC)・角張 桂子(前橋RC)両カウンセラーによる体験発表があり、その後齋藤 勝也米山奨学委員長から「カウンセラーの重要性」がプロジェクターを使い、この事業の「成功の鍵は、カウンセラー」次第と説明され、その中で出席全員のカウンセラーから発言があり、突っ込んだ意見交換になり有意義な研修会になりました。

最後に、竹内 正幸米山記念奨学会評議員から「会員一人ひとりから寄せられた米山奨学寄付金を大切に使ってほしい」と講評頂き、終了となりました。



米山研修セミナー

開催日：平成30年9月30日(日) 12:45～15:30

場 所：前橋問屋センター会館

報告者：地区副幹事 小池 敏郎

司会：星野 大輔

米山研修セミナーがロータリー地区役員、各クラブ出席者総勢130余名で盛大に行われました。宮内ガバナー・竹内 正幸米山記念奨学会評議員の挨拶に始まり、講演は2018-2020年度米山親善大使エンフボルド・ボロルトヤ(モンゴル)さんが、自己紹介から始まり親善大使になるまでの経緯そして、プロジェクターを使いクイズ形式で米山学友会の現状を丁寧に話されました。その後「米山奨学生になって」をマハルレジャン・リテッシュ(太田西RC,ネパール)とコ・プイイ(高崎セントラルRC,マレーシア)の二人から奨学生の現状報告を話され、続いて「カウンセラーとして」を岡田 敏郎(太田RC)さんに報告して頂きました。高木 貞一郎米山記念奨学会理事には「米山記念奨学会の現状」と題しプロジェクターを使い丁寧に説明頂きました。その後「世界へ届け米山の架け橋」のDVD観賞、講演の最後に「ロータリー米山記念奨学事業について」を齋藤 勝也米山記念奨学委員長から説明いただきその中の報告で、「昨年度寄付者割合順位」で、2840地区が1位でした。最後に森田 高史ガバナーエレクトに講評を頂き終了となりました。



地区指導者育成セミナー

開催日：平成30年10月6日(土) 14:00～

場 所：館林市文化会館 小ホール

報告者：地区副幹事 山本 樹

司会：地区副幹事 山本 樹

各クラブの会長・幹事・クラブ研修リーダーを対象に153名が出席のもと開催されました。宮内 敦夫ガバナー挨拶後、RI会長代理高野 孫左門様にご挨拶を頂き、竹内 正幸地区研修委員長が本日の趣旨説明を行いセミナーがスタートしました。

前半では「ロータリーにおける不易と流行」のテーマでRI会長代理高野 孫左門様に基調講演して頂きました。ご自身の18代続く家業の変遷を例にして、ロータリーの精神を踏襲しつつも時代と共に変えていかなくてはならないものがあるとお教え頂きました。

休憩を挟み後半では、「ロータリアンのための危機管理」をテーマに地区危機管理委員長の森田 均パストガバナーに講演して頂きました。その中でロータリアン一人ひとりが危機管理意識を持つことが重要であると話されました。

最後に竹内 正幸地区研修委員長に講評を頂きセミナーは無事に修了しました。



宮内 敦夫 ガバナー



RI会長代理 高野 孫左門 様



竹内 正幸 地区研修委員長



森田 均 パストガバナー

RI会長代理歓迎晩餐会

開催日：平成30年10月6日(土) 18:00～20:00
場 所：ジョイハウス 2階
報告者：小池 敏郎(館林RC)

式次第

開会挨拶

ガバナー歓迎挨拶

RI会長代理挨拶

祝 辞

乾 杯

祝 宴

アトラクション

閉会の挨拶

ロータリーソング『手に手つないで』合唱

RI会長代理ご夫妻退場

ホストクラブ館林RC会長

ガバナー

RI会長代理

RI元理事

パストガバナー

演 奏

地区大会幹事

ソングリーダー

司会：関口 昇 (館林RC)

橋本 文華(館林RC)

毛塚 宏 (館林RC)

宮内 敦夫

高野 孫左工門様

重田 政信

高木 貞一郎

フェリーチェ カルテット

新井 保 (館林RC)

根岸 利正(館林RC)



歓迎挨拶 宮内 敦夫 ガバナー



RI会長代理 高野 孫左工門 様



乾杯 高木 貞一郎 パストガバナー



閉会挨拶 地区大会幹事 新井 保



アトラクション演奏 フェリーチェ カルテット



手に手つないで

地区大会

開催日：平成30年10月7日(日) AM9:30～

場 所：館林市文化会館大ホール

ホストクラブ 館林ロータリークラブ
コ、ホストクラブ 大泉ロータリークラブ
館林西ロータリークラブ
館林東ロータリークラブ
館林ミレニウムロータリークラブ
司 会 本島 克幸 (館林RC)
坂上 洋子

08:30 受付、登録

09:10 オープニングアトラクション

群馬県立館林高等学校吹奏楽部

09:30 RI会長代理 高野 孫左工門様 御夫妻入場

開会宣言

点 鐘

国歌、ロータリーソング斉唱

物故会員追悼

歓迎挨拶

地区幹事

ガバナー

ソングリーダー

司会者……

地区大会実行委員長

小暮 雅丈

宮内 敦夫

根岸 利正 (館林RC)

原 初次 (館林RC)

09:50 RI会長代理紹介及び来賓、
他地区来訪者、地区役員紹介

10:00 ガバナー挨拶

10:10 来賓祝辞

ガバナー

ガバナー

群馬県知事

館林市長

館林商工会議所会頭

RI会長代理

宮内 敦夫

宮内 敦夫

大沢 正明 様

須藤 和臣 様

河本 榮一 様

高野 孫左工門 様

10:15 RI会長代理挨拶、RI現況報告

10:45 (休憩)

11:00 ガバナー報告

大会委員会報告

資格審査委員会報告

登録委員会報告

ガバナー指名委員会報告

審議会立法案検討委員会

田中年度決算報告

監査報告

承 認

大会決議案発表

大会決議案審議、採択

ガバナー

委員長

委員長

委員長

委員長

田中年度地区会計長

田中年度地区会計監査人

直前ガバナー

大会決議委員長

ガバナー

宮内 敦夫

正田 博之

田中 久夫

本田 博己

曾我 隆一

上野 正人

西巻 忠彦

田中 久夫

生方 彰

宮内 敦夫

11.50 諸事お知らせ(各会場へ移動、昼食)

13.00 基調講演、講師紹介

基調講演

テーマ：「開発途上国の生活環境の向上を目指して」

ガバナー

東洋大学副学長

宮内 敦夫

北脇 秀敏 様

14:00	記念事業発表	ガバナー	宮内 敦夫
14:10	各種表彰、感謝状、記念品 RI表彰 2017-2018年度ガバナー表彰他 田中年度感謝状、記念品贈呈	RI会長代理 直前ガバナー ガバナー	高野 孫左工門 様 田中 久夫 宮内 敦夫
14:40	各分区ガバナー補佐と参加45クラブ紹介	各ガバナー補佐と各クラブの会員	
15:10	休憩		
15:25	ロータリー家族活動報告	学友委員会、青少年交換学生、 インターアクト、ローターアクト、 米山記念奨学生	
16:10	ガバナーエレクト紹介	ガバナー ガバナーエレクト	宮内 敦夫 森田 高史
16:20	次年度地区大会ホストクラブ挨拶	伊勢崎ロータリークラブ会長	新井 利和
16:30	講評	RI会長代理	高野 孫左工門 様
16:40	ガバナー謝辞、記念品贈呈	ガバナー	宮内 敦夫
16:45	閉会の辞 点 鐘	地区大会副実行委員長	滝野瀬 博志(館林RC) 宮内 敦夫



オープニングアトラクション (群馬県立館林高等学校 吹奏楽部)



ガバナー挨拶



RI会長代理挨拶 (高野 孫左工門 様)



資格審査委員会報告 (疋田 博之 委員長)



大会決議案発表 (生方 彰 委員長)

基調講演

開発途上国では、劣悪な生活環境による感染症などのために多くの人が健康被害を受けています。先生は過去、世界各国で水供給、廃水処理、固形廃棄物処理などに長らく携わっており、生活環境の向上を通じた途上国の発展を目指しています。

今回は国際機関（WHO）、二国間援助機関（JICA）、NGO(BAJ)などでアジア、中東、アフリカ、太平洋諸島、中南米などにおける先生の国際協力経験から得た教訓を紹介していただき、先生が大学教員として行っている途上国開発の研究や、長らく派遣支援をしている青年海外協力隊員の活動なども紹介していただきました。



基調講演(東洋大学副学長 北脇 秀敏 様)

各種表彰、記念品贈呈



R I 表彰

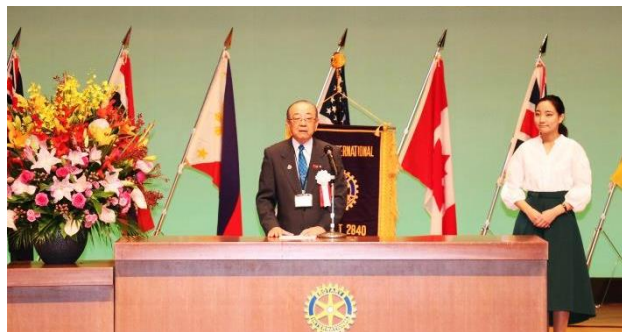


2017-2018年度 クラブ表彰



参加45クラブ紹介

ロータリー家族活動報告



学友委員会



インターアクト



青少年交換学生



ローターアクト



米山記念奨学生



次年度地区大会ホストクラブ（伊勢崎ロータリークラブ）



ガバナーエレクト紹介（森田 高史G.E）



閉会の辞（滝野瀬 博志 副実行委員長）

懇親会

開催日：平成30年10月7日(日) 17:30～
場 所：ジョイハウス
報告者：地区副幹事 長柄 純

地区大会が終了し会場移動を行い、地区大会懇親会がジョイハウスを全館借り切り、親睦を深める会が開催されました。多くの各地区会員が一同に集い懇親を深めることが出来るよう、1F・2Fを映像と音声モニターに中継され、楽しい時間が過ごせ、正田バンドが一段と盛り上げてくれた懇親会でありました。

地区大会懇親会プログラム

司会： 渋澤 勉 (館林RC)
荒木 千津子 (館林RC)

18:00	RI会長代理ご夫婦入場		
18:10	開会挨拶	大会実行委員長	原 初次 (館林RC)
18:30	ガバナー歓迎挨拶	ガバナー	宮内 敦夫
	RI会長代理ご夫婦・ご来賓紹介	ガバナー	宮内 敦夫
	RI会長代理挨拶	RI会長代理	高野 孫左工門様
18:40	RI会長代理ご夫婦へ花束贈呈		
	乾 杯	ガバナーエレクト	森田 高史
19:50	歓談・歓迎アトラクション	演奏	正田バンド
	閉会挨拶	ホストクラブ会長	毛塚 宏 (館林RC)
20:00	ロータリーソング「手に手つないで」	ソングリーダー	根岸 利正 (館林RC)
20:10	RI会長代理ご夫婦退場		
	閉 会		



開会挨拶 原 初次 実行委員長



RI会長代理 高野 孫左工門ご夫妻へ花束贈呈



ガバナー挨拶 宮内 敦夫 ガバナー



アトラクション 正田バンド



乾杯 森田 高史 ガバナーエレクト



歓談風景



手に手つないで



閉会挨拶 毛塚 宏 会長

群馬県ロータリークラブ野球大会 開会式

開催日：平成30年10月13日(土) 8:20～

場 所：前橋市 桃ノ木川グランド

報告者：地区幹事 小暮 雅丈

ロータリーの全国大会である甲子園球場を目指して、9チーム 役員を含め総勢285名(3チーム棄権)が大会に参加されました。今まで伊勢崎中央ロータリークラブが9連覇していることで、10連覇をどのチームが阻止できるかと話題になっていました。

開会式では、幹事クラブの前橋東ロータリークラブの釘島 伸博会長による開会挨拶に始まり、宮内 敦夫ガバナー挨拶後、伊勢崎中央ロータリークラブの大木 学氏の選手宣誓、前橋東ロータリークラブ監督の戸塚 和昭氏が注意事項や諸事お知らせを説明し、開会式を終了しました。

9時より第1試合が行われるにあたり、始球式を宮内 敦夫ガバナーが務められました。球速も速くノーバウンドでキャッチャーミットにボールが吸い込まれると、両脇で見ていた選手の皆さんの歓声がグラウンドに響き渡りました。

田中直前ガバナーも高崎ロータリーチームの一員として野球大会を楽しまれていました。

大会の様子はケーブルテレビ j:COMに取材して頂きました。

この度の野球大会開催に当たっては、特に前橋市審判部の加藤さんを始め12名の皆様に大変お世話になりました。ありがとうございました。

10月27日(土)が決勝戦となりますが、この月信が発行される頃には結果が出ていると思いますので、今から楽しみにしています。

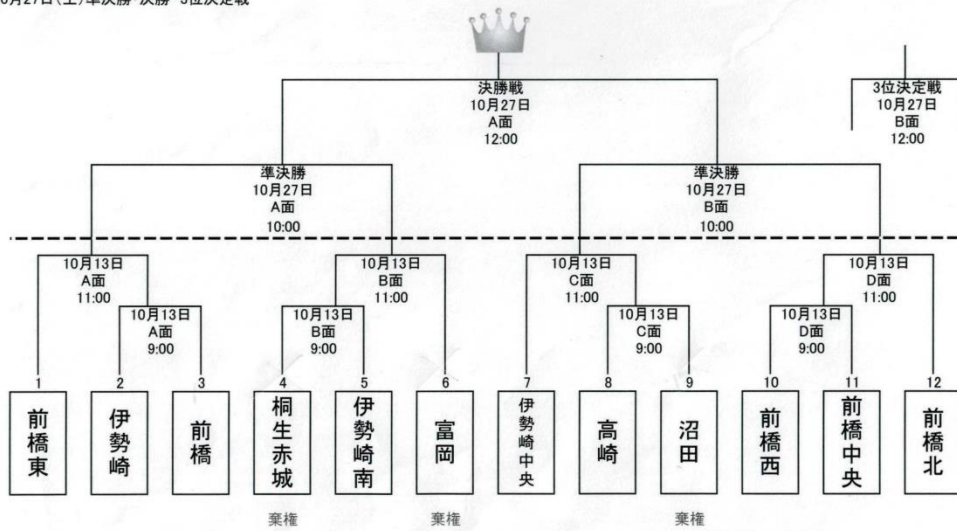


参加選手の皆さん

Rotary 2018~2019年度
群馬県ロータリークラブ 野球大会

10月13日(土)開会式 1回戦・2回戦
10月27日(土)準決勝・決勝 3位決定戦

幹事クラブ: 前橋東ロータリークラブ
開催地: 前橋市 桃ノ木川グラウンド



※ベンチ(ダッグアウト)について
ベンチは抽選番号の若番チームが1塁側を使用する



選手宣誓 伊勢崎中央RC 大木 学 氏



優勝トロフィー返還



始球式 宮内 敦夫 ガバナー



会員寄稿 「OUR WORLD IS SMALL」

OUR WORLD IS SMALL.

高崎東RC 豊泉 清

2018年9月にRI第5420地区（アメリカ ユタ州）のロータリークラブを訪問する機会に恵まれた。全国各地の8つの地区の8人の会員がチームを組み、1週間で4つのクラブの例会に出席する日程である。

以前から親交のある日本とアメリカのパストガバナーの間で、日米両国の地区対地区の友好親善関係を樹立したいというアイデアが浮かんだのが今回の旅行の契機となり、先ず日本から代表団を派遣した。

ユタ州のパストガバナーは大の日本虜で、RI第5420地区から希望者を募って訪日団を組織し、日本に親しんでもらいたいと希望している。

私も8人の会員はユタ州の4つのロータリークラブで、それぞれ自分の地区の紹介を試みた。ユタ州からの訪日団は、約1週間で日本の数カ所の地区を順次移動し、歓迎会や懇親会を開催するという大ざっぱな計画が決まった。来春実行予定の第1回目の企画では山形県と茨城県と愛知県の地区が担当する予定である。近い将来には群馬県にも足を運んで頂きたいと個人的に希望している。

アメリカは多民族国家であり、人種の坩堝である。1つのロータリークラブの会員の中に様々な国の出身者が交じっている。

あるクラブの歓迎会で、韓国とメキシコ出身の会員が私の両隣に坐った。アメリカの大学を卒業し、その後もアメリカに定住して活躍している会員である。韓国人の母国語は韓国語、メキシコ人の母国語はスペイン語である。私は韓国語とスペイン語も独学で少々齧ったことがある。韓国やメキシコの歴史や文化に興味があり、共通の話題が多いので、それぞれ相手の母国語でお喋りが大いに盛り上がった。英語しか話さないアメリカ人も交えて、OUR WORLD IS SMALL.

（世界は狭いね）という共通の認識で全員の意見が一致した。

こんなお遊びが楽しめるのも、ひとえにロータリーに入ったお陰だと心から感謝している。今後もロータリー活動を通じて、国際的視野を拓げ、国際感覚を涵養していきたいと願っている。

（写真説明 向かって左からアメリカ人、筆者、メキシコ人、韓国人）



ぐんま経済新聞掲載企画について

ガバナー 宮内 敦夫
公共イメージ委員長 槻岡 行支

拝啓 初秋の候、皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、先般各クラブへお知らせ及びご依頼をさせて頂きましたが、本年度も群馬経済新聞様のご協力を頂き、前年度に引き続き、ぐんま経済新聞に毎週、地区内45クラブのクラブ紹介を掲載させて頂きます。


掲載要項と掲載予定を再度お知らせさせて頂きますので、ご確認下さいますようお願いいたします。

尚、本年度は月信の紙面上で掲載面のご紹介ができませんので、掲載面は毎週木曜日発行の「ぐんま経済新聞」でご確認頂けますようお願いいたします。

敬具

【クラブ紹介記事 要項】

1. 木曜日発行の「ぐんま経済新聞」にて、国際ロータリー第2840地区の45クラブのクラブ紹介を毎週1クラブずつ行う。
2. 記載項目
 - クラブ紹介（クラブの特徴やトピックス）
 - クラブ会長挨拶
 - クラブ概要（会長・幹事名、事務局所在地、例会情報など）上記項目を600字程度で記述のこと
3. 会長顔写真を掲載
4. フォーマットは下記の通り

	国際ロータリー第2840地区〈群馬〉
	〇〇〇ロータリークラブ
■ 会長あいさつ	■ クラブ紹介
.....	〇〇会長

記事掲載企画

記事内容：クラブの紹介

原稿（会長の写真を添えて）の提出先：ぐんま経済新聞社 小曾根 要人 様

seisaku@gunkei.com まで

	RC	新聞掲載日 (木曜日)	原稿締切り日 (厳守)
第3分区	高崎	10/11	9/27
	高崎南	10/18	
	高崎北	10/25	
	高崎東	11/1	
	高崎シンフォニー	11/8	
	高崎セントラル	11/15	
第2分区B	伊勢崎	11/22	11/8
	群馬境	11/29	
	伊勢崎中央	12/6	
	伊勢崎南	12/13	
	伊勢崎東	12/20	
第2分区A	桐生	検討中	12/13
	桐生南		
	桐生西		
	桐生赤城		
第1分区	前橋	検討中	1/24
	前橋西		
	前橋東		
	前橋北		
	前橋南		
	前橋中央		



	RC	新聞掲載日 (木曜日)	原稿締切り日 (厳守)
第6分区	富岡	検討中	3/7
		
	藤岡		
		
	安中		
		
	藤岡北		
		
富岡中央			
.....			
碓氷安中			
.....			
藤岡南			
.....			
富岡かぶら			
第5分区	渋川	4/18	
		
	沼田		
		
	草津		
		
	中之条		
.....			
沼田中央			
.....			
渋川みどり			

ガバナー公式訪問要領・日程表

ガバナー公式訪問要領

国際ロータリー第2840地区 2018-2019年度

1. ガバナー公式訪問は単独クラブ訪問とします。
2. 訪問時は、ガバナー補佐、地区幹事、分区担当副幹事を原則同行します。
3. 公式訪問の進め方とタイムスケジュール
 - (1) クラブ役員懇談会（例会前50分）
会長・幹事・会長エレクト・会員増強委員長・公共イメージ委員長および地区役員、インターアクト、ローターアクト提唱クラブは、各会長も出席してください。
 - (2) 例会（ガバナースピーチに30分程度下さい）
 - (3) クラブ協議会（例会後60分）参加者は、上記役員のほか、各委員長、新入会員の出席をお願いします。内容は、クラブの現況、例会出席状況と楽しい例会作りの工夫、会員の年齢構成、会員増強と退会防止の方策、クラブの長所・改善点、各種寄付状況、奉仕プロジェクトの履歴と現況、公共イメージと認知度向上のための戦略などについて懇談したいと思います。
4. ガバナー補佐は、事前に所管のクラブを訪問し、例会あるいはクラブ協議会に参加し、クラブの現況とニーズを把握し、所定の書式（後日依頼）にて公式訪問の1週間前までに報告してください。
5. 各クラブは現況報告書（5部）を8月31日までにガバナー事務所に提出してください。9月1、2週に訪問するクラブは仮報告書で結構ですから、訪問2週間前に提出してください。



日程表

2018年	10月	9日 (火)	高崎南
		10日 (水)	前橋南
		11日 (木)	群馬境
		12日 (金)	前橋西
		15日 (月)	伊勢崎東
		16日 (火)	伊勢崎南
		17日 (水)	高崎北
		18日 (木)	伊勢崎中央
		19日 (金)	高崎シンフォニー
		22日 (月)	桐生
		23日 (火)	桐生赤城
		24日 (水)	伊勢崎
		25日 (木)	富岡中央
		26日 (金)	桐生西
		29日 (月)	前橋北
		30日 (火)	前橋
		31日 (水)	桐生南
		11月	13日 (火)
	14日 (水)		太田西
	15日 (木)		前橋東
	16日 (金)		太田中央
	22日 (木)		太田
	27日 (火)		館林西
	28日 (水)		館林東
	29日 (木)		館林ミレニアム
	12月	30日 (金)	館林
		4日 (火)	太田南
		5日 (水)	大泉



年間行事予定表

開催日		項目	場所	
『経済と地域社会の発展月間』・『米山月間』				
2018年	10月	6日(土)	地区指導者育成セミナー	館林市文化会館
		6日(土)	RI会長代理歓迎晩餐会	レストランジョイハウス
		7日(日)	地区大会	館林市文化会館
		7日(日)	懇親会	レストランジョイハウス
		10日(日)	RI決議審議会(オンライン)	
		13日(土)	群馬県ロータリークラブ野球大会 開会式	桃ノ木川グラウンド
		21日(日)	青少年交換派遣学生選考会	前橋問屋センター会館
		27日(土)	群馬県ロータリークラブ野球大会 閉会式	桃ノ木川グラウンド
		28日(日)	RLIセミナー Part II	前橋問屋センター会館
『ロータリー財団月間』				
11月	3~4日(土)(日)	RYLA研修セミナー	高崎 サンコー72CC	
	10日(土)	ロータリー財団補助金管理セミナー	前橋商工会議所	
	11日(日)	青少年交換派遣候補生 第1回オリエンテーション	伊勢崎プリオパレス	
	25日(日)	RLIセミナー Part III	前橋問屋センター会館	
『疾病予防と治療月間』				
12月	1日(土)	(森田年度) 第1回ガバナー補佐会議	前橋問屋センター会館	
	9日(日)	米山記念奨学生選考会面接官 オリエンテーション	ホテルメトロポリタン高崎	
	9日(日)	米山学友会忘年会	ホテルメトロポリタン高崎	
	15日(土)	(森田年度) クラブ運営セミナー	伊勢崎プリオパレス	
	15日(土)	(森田年度) 第1回ガバナー補佐・ 委員長予定者合同会議	伊勢崎プリオパレス	
『職業奉仕月間』				
2019年	1月	6日(日)	第3回ガバナー諮問委員会・ GE(森田) 壮行会	伊勢崎プリオパレス
		12~19日	国際協議会(GE出席)	サンディエゴ
		19日(土)	米山記念奨学生 選考会	前橋問屋センター会館
		19日(土)	第1回地区補助金予備審査会	前橋商工会議所
		26日(土)	会員組織強化・女性ネットワーク合同委員会	前橋問屋センター会館

『平和と紛争予防／紛争解決月間』			
2月	2日 (土)	(森田年度) 委員会事業計画協議会 (グループ毎)	伊勢崎プリオパレス
	3日 (日)	IM (第2分区B)	伊勢崎プリオパレス
	9日 (土)	IM (第6分区)	並木苑
	16日 (土)	第4回ガバナー諮問委員会・ GE (森田) 報告	伊勢崎プリオパレス
	16日 (土)	(森田年度) 地区チーム研修セミナー	伊勢崎プリオパレス
	23日 (土)	ローターアクト年次大会	高崎
	23日 (土)	IM (第3分区)	ホテルグランビュウ高崎
『水と衛生月間』			
3月	2日 (土)	米山記念奨学生終了式・歓送会	ホテルメトロポリタン高崎
	3日 (日)	IM (第5分区)	プレヴェール渋川
	9日 (土)	IM (第4分区A・B)	レストランジョイハウス
	16~17日 (土)(日)	会長エレクト・幹事エレクトセミナー (PETS・SETS)	伊香保 福一
	23日 (土)	第2回地区補助金予備審査会	前橋商工会議所
	30日 (土)	IM (第1分区)	未定
	28~31日	IA海外研修	台湾
	31日 (日)	IM (第2分区A)	桐生プリオパレス
『母子の健康月間』			
4月	13日 (土)	(森田年度) 第2回ガバナー補佐会議	伊勢崎プリオパレス
	13日 (土)	(森田年度) 第2回ガバナー補佐・ 委員長合同会議	伊勢崎プリオパレス
	14日 (日)	青少年交換ホストクラブ 第1回オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	14~18日	規定審議会	シカゴ
	20日 (土)	地区補助金最終審査会	前橋商工会議所
	21日 (日)	新規米山記念奨学生カウンセラーセミナー	前橋問屋センター会館
	21日 (日)	新規米山記念奨学生カウンセラー・ 奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	21日 (日)	継続米山記念奨学生 資格審査面談	前橋問屋センター会館
『青少年奉仕月間』			
5月	10~11日	IA海外研修受け入れ	中央情報経理専門学校
	12日 (日)	地区研修・協議会	境総合文化センター 伊勢崎プリオパレス



『ロータリー親睦活動月間』

6月	1～5日	国際大会	ドイツ・ハンブルク
	8日（土）	米山記念奨学生指定校選定会議	ホテルメトロポリタン高崎
	8日（土）	米山学友会総会	ホテルメトロポリタン高崎
	15日（土）	第5回ガバナー諮問委員会	
	15日（土）	現・新地区役員合同連絡会議	
	16日（日）	青少年交換受入学生歓迎会・ 夏期交換学生歓迎会	前橋問屋センター会館
	22日（土）	（森田年度）第3回ガバナー補佐会議	伊勢崎プリオパレス
	22日（土）	（森田年度）会員増強セミナー	伊勢崎プリオパレス

周年行事予定クラブ

開催日			項目	場所
2018年	10月	16日(火)	前橋ロータリークラブ 65周年記念式典	ロイヤルチェスター前橋
2019年	3月	23日(土)	前橋中央ロータリークラブ 25周年記念式典	ロイヤルチェスター前橋
		25日(月)	高崎ロータリークラブ 65周年記念式典	ホテル グランビュー高崎
	4月	6日(土)	高崎セントラルロータリークラブ 20周年記念式典	ホテル グランビュー高崎
		20日(土)	館林東ロータリークラブ 35周年記念式典	レストラン ジョイハウス
		23日(火)	渋川みどりロータリークラブ 25周年記念式典	プレヴェール渋川
	5月	19日(日)	沼田ロータリークラブ 60周年記念式典	ホテル ベラヴィータ
			前橋西ロータリークラブ 55周年記念式典	未定
未定			藤岡ロータリークラブ 55周年記念式典	未定
未定			高崎東ロータリークラブ 40周年記念式典	未定
未定			伊勢崎東ロータリークラブ 25周年記念式典	未定

新会員紹介



氏名 八木 慎次
クラブ 前橋東
入会日 2018年07月12日
職業分類 造園業
勤務先 株式会社 八木造園
役職 常務取締役
推薦者 釘島 伸博



氏名 南雲 智仁
クラブ 渋川みどり
入会日 2018年08月07日
職業分類 金属加工業
勤務先 (株)南雲製作所
役職 専務取締役
推薦者 高橋 範行
金子 渡



氏名 茂木 弘之
クラブ 藤岡
入会日 2018年09月20日
職業分類 イタリア料理
勤務先 アーネ ソナンサ
役職 オーナーシェフ
推薦者 岩井 智



氏名 宮下 達也
クラブ 藤岡
入会日 2018年10月04日
職業分類 パネルヒーター
製造
勤務先 (株)アール
シーエス
役職 代表取締役
推薦者 岩井 智

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます



氏名	滝本 俊雄	第7回 米山功労者 マルチプル
クラブ	太田中央ロータリークラブ	マルチプル・ポール・ハリスフェロー5
入会日	1992年05月22日 (チャーターメンバー)	1992年～1993年 初代会長
退会日	2018年09月21日	2000年～2001年 第9代会長
享年	90歳	
勤務先	社会福祉法人 晃栄会育実保育園	

滝本俊雄会員は、平成4年5月22日に当クラブを創立し、初代会長を務められました。以来27年間、ロータリーの奉仕の理想を貫かれ、クラブのリーダーとしてご活躍いただきました。例会にはいつも出席していただき、穏やかながらも威厳を醸し、例会を引き締めてくださっておりました。御年90歳でありながら、笑顔を絶やさず誰とでも気さくにお話をしてくださった滝本俊雄会員の雄姿を忘れることはありません。これまでのご功績に感謝し、心からご冥福をお祈りいたします。

クラブ会長 前原 信之



氏名	七五三木 正	ポール・ハリス・フェロー
クラブ	桐生西ロータリークラブ	
入会日	2012年08月24日	
退会日	2018年09月23日	
享年	70歳	
勤務先	七五三木測量開発(株)	
役職	代表取締役	

七五三木正さんを偲んで
七五三木正さんは、測量開発企画の会社の代表取締役として、地域の発展に努められました。ロータリークラブの入会は、今から31年前の1987年3月で、多忙なお仕事の都合により2年余りで一度退会されましたが、多くの会員のラブコールに応え、2012年8月に再入会して下さいました。几帳面で何事も筋を通すご性格ですので、ロータリー活動も誠意を持ってご自分の責務を立派に果たされました。また、長老会員を大切に、新会員には優しく、全ての会員に敬意を持って丁寧に接して下さいました。死に至る病を抱えていることも明かさずに、直前まで元気に明るく気丈に振舞っていらっしゃいました。七五三木 正さんのロータリーへの多大なる功績に改めて感謝申し上げ、心からご冥福をお祈り申し上げます。

桐生西ロータリークラブ会長 正田 恵一

文庫通信 (373号) <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

日本のロータリーの歴史より

「温故知新 ロータリーの今昔」 (D.263)	遠藤 健三	1987	7p
「<座談会> ロータリー文庫について」	ロータリー文庫	1987	27p
「ロータリー米山記念奨学会史〈第一章〉」	米山記念奨学会	1992	31p
「日本ロータリー史(1920～1970)」	直木 太一郎	1971	37p
「日本ロータリー再建の頃」	ジョージ R. ミーンズ(元RI事務総長)	友 1976 /9月～	27p
「満州におけるロータリー運動の展望」	佐々木 孝三郎		19p
「朝鮮に於けるロータリーと第10年次大会を回顧して」	佐々木 孝三郎		11p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫	〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階 TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前 10 時～午後 5 時 休館=土・日・祝祭日
---------	---



出席報告

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
45	2112	2132	2136	4	158	81.62

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分区	前橋	4	75.85	124	122	122	0	11
	前橋西	4	78.84	58	58	58	0	5
	前橋東	4	82.97	51	53	53	0	5
	前橋北	2	87.67	71	73	73	0	2
	前橋南	4	84.09	44	44	44	0	2
	前橋中央	4	85.42	26	26	26	0	8
	合計		82.47	374	376	376	0	33
第2分区A	桐生	2	76.84	61	62	66	4	9
	桐生南	3	74.19	35	36	36	0	4
	桐生西	4	90.22	63	63	62	-1	9
	桐生赤城	3	81.44	42	43	43	0	8
	合計		80.67	201	204	207	3	30
第2分区B	伊勢崎	4	91.77	84	84	84	0	3
	群馬境	4	82.96	25	26	26	0	2
	伊勢崎中央	4	82.74	85	85	87	2	7
	伊勢崎南	3	83.87	30	31	31	0	1
	伊勢崎東	2	84.85	32	32	33	1	1
	合計		85.24	256	258	261	3	14
第3分区	高崎	2	85.24	130	136	135	-1	14
	高崎南	4	73.31	73	74	74	0	9
	高崎北	3	62.56	72	72	72	0	0
	高崎東	4	78.15	42	43	43	0	3
	高崎シンフォニー	3	76.51	43	44	44	0	4
	高崎セントラル	4	100.00	36	36	36	0	0
合計		79.30	396	405	404	-1	30	

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第4分区A	太田	4	87.83	73	74	74	0	3
	太田西	4	89.36	19	19	19	0	2
	太田南	3	87.12	47	47	47	0	3
	新田	3	82.14	31	28	28	0	2
	太田中央	5	80.91	55	55	54	-1	3
	合計		85.47	225	223	222	-1	13
	第4分区B	館林	4	89.55	53	55	55	0
大泉	4	71.98	34	34	34	0	3	
館林西	4	81.25	21	21	20	-1	1	
館林東	4	72.05	21	20	20	0	3	
館林ミレニアム	4	88.33	27	27	27	0	1	
合計		80.63	156	157	156	-1	10	
第5分区	渋川	3	94.99	64	64	64	0	6
	沼田	2	81.17	69	72	72	0	3
	草津	3	73.30	15	15	15	0	1
	中之条	4	83.96	21	21	21	0	1
	沼田中央	4	74.43	45	45	45	0	3
	渋川みどり	4	72.73	36	37	37	0	2
	合計		80.10	250	254	254	0	16
第6分区	富岡	4	91.58	44	45	45	0	4
	藤岡	3	83.23	52	52	53	1	2
	安中	4	60.19	53	54	54	0	3
	藤岡北	4	83.32	15	15	15	0	1
	富岡中央	4	87.05	35	35	35	0	1
	碓氷安中	4	72.50	11	10	10	0	0
	藤岡南	3	85.72	13	13	13	0	0
	富岡かぶら	3	78.88	31	31	31	0	1
合計		80.31	254	255	256	1	12	

2018年9月末現在

コラム

コラム〈みんなの広場〉—皆様の投稿をお待ちします—

これから1年間ガバナー月信でお付き合いをお願いしますが、少しは為になる気持ちのほぐれる話を一話ずつこのコラムに書きたいと思います。このコラムにロータリアンの皆さんが投稿してくださり、意見交換の場になればと思います。

私は、英米文学と英語学の教員としてスタートしましたが、後年になると、隣接の学問分野に関心が湧き、異文化理解—日本人と外国人、言語と国民性の相違などを研究しました。僧侶でもありますので、仏教のみならずほかの宗教へも関心があります。

このコラムでは、私の随想〈徒然に思い浮かぶこと〉とはいえ、ロータリー活動に関係のあることを異文化理解・仏教の教えの観点から書かせていただきます。

【第5話】国際社会における日本人を考える（その2）

10月号から「国際社会における日本人を考える」と題して、拙い話を始めました。前回の「はじめに」では、異文化理解の重要性について述べました。今回からは本論に入ります。気候風土とそこに形成される人間社会の特徴について考えてみます。

風土と共同体社会の特徴

異文化理解とは他国の国民性や文化を知ることではありますが、それはとりもなおさず自国の国民性や文化を他国との比較の中で知ることでもあります。人間が生存するためには、生活の場としての気候風土があります。気候風土は長い歴史の中で人間の生き方を条件づけ思考や行動を特徴づけてきました。〈以下の「風土と共同体社会」は佐藤延子著『比較文化論』（尚学社）を一部参考にしています。〉

和辻哲郎は『風土』で、人間存在の基本的類型として、世界の風土を(1)モンスーンの(2)砂漠的(3)牧場的の3つに分類しています。

1) モンスーンの風土社会の特徴

モンスーンの風土は、季節風と湿度をもった熱暑から寒冷まで緯度によって多様な気候をもつが、雨が多く降り湿度が高い。植物は湿度によって繁殖し、そのエコロジーの中で多様な動物の生命を生存させます。人間との関係においては、自然は克服すべき敵ではない。自然は、それに従って生きれば恵みを与えてくれ、人間を生かしてくれる母親のような存在であります。他方、砂漠地のように自然が厳しければ、それは克服すべき対象です。

中でも日本は稲作農業の特徴が濃厚です。稲作は定住と共同を求めます。同じ所に住み、季節と気温の変化の中で共同して作業することは、没個性と集団の和と個人より集団の優先を生みます。

今は機械化されているので、稲作は自分の家だけでできます。その前は、冬の間には翌年の俵を編み、春先にもみ種をまき苗を仕立て、梅雨のころ田植えをします。夏は水の管理をし、秋には稲刈りをし収穫します。同時に、裏作としての麦の栽培や養蚕があります。農作物は時期を外れるとよい収穫はできません。機械化される前は、牛馬以外は人力でやるしかありませんでした。定住し共同するしかありませんでした。季節と気候に従い、地域共同体の和の中で生活するしかありませんでした。また、助け合いの農作業では「遠くの親戚より近くの他人」の方が大切でした。人間関係は「縦型社会」になり、集団への「依存」と「甘え」が人間関係の基盤でありました、それは都市化と工業化が進んだ今日にでも根本的には変化はないと言えます。

ヨーロッパの共同体意識はこれとはまったく違います。後述します。日本のような自立なき依存の社会では、個人の主張が強すぎると利己主義で反社会的であると見なされます。社会への参加とは、没個人の集団主義に従うことです。それは「互いに頼ること」(甘え)であり、「よろしくお願いします」が象徴する相手の意思の尊重と自己抑制であります。集団の和を保つために自己主張をせず、自己否定的で、立場の上のものに従う依存型(甘え)で無口であることが特徴です。しかし、内と外を分け、「よそ者」に対しては疎外的であります。今でも、外国人に対してはその傾向があります。

自然は厳しいが豊かな恵みを与えてくれる。自然現象は畏怖と感謝の念から神の仕業と認識される。ここに自然崇拜が生まれます。絶対神ではなく自然の中にいろいろな神を感じる「多神教」であります。ヒンズー教、仏教、道教、神道などは、モンスーン文化圏の宗教です。

日本語には、アニミズム的な特徴(自動詞表現など。「～する」でなく、「～なる」が多い)や敬語・謙譲語など自分を下に置く表現が顕著です。後で言及します。

【日本社会の特徴】をまとめてみますと、一定住、共生共存意識、自己否定的、忍従・従順、皆と「同じ」、無口、依存と甘え、対立を避ける、上下を重んじる、集団志向、和、信用しやすい、真似ることを重視、台風型性格、縦型社会、グループ指向社会、グループ内の和と外部社会との隔離、群れる一などの特徴が挙げられます。

2) 砂漠的風土社会の特徴

砂漠的風土の特徴は乾燥です。乾燥した土地には植物は繁茂せず、生命は生存できない。「死」と対峙しなければならない。遊牧民は水と草を求めて移動する。自然の恵みが少ない環境では、人間は自然の中に「死」を見ることによって、逆に「生」を自覚し、生きる力を得る。砂漠における自然と人間の関係は対立的で戦闘的であります。これが人間社会を特徴づけます。

砂漠では人間は一人では生きていけない。自然の恵みを食料として期待できないので、共同体を作り、遊牧・牧畜により集団の協力と団結を強めて生きていく。集団の絆は血縁であります。共同体には統率者が必要です。全員の財産である家畜の繁殖と管理のために統率者に服従するしかありません。

自分の共同体の勢力拡大繁栄のために他の共同体との人間関係は、外に対しては自己防衛的対抗的です。利己主義的生活は不可能であり、共同体の利益が個人の利益です。

自然との対峙の中で人間を導いてくれる絶対的な指導者は「唯一神」であり、絶対服従であります。

絶対神は人間に規律と保護を与える。「神との契約」によって人間は、生活の安定と生命の安全および一族の繁栄を約束してくれるのです。ユダヤ教、キリスト教、イスラムの一神教に見るとおりです。

他宗教に対して排他的であり攻撃的であるのは砂漠という厳しい風土の特徴です。遊牧文化の宗教の特徴は、農耕文化の受容的融合的多神教的宗教の特徴とは対照的です。

3) 牧場的風土社会の特徴

牧場的風土では、夏は乾燥し雑草がはびこらない。モンスーン気候の自然の猛威もないが、砂漠的気候の乾燥もない。突然襲ってくる暴風雨がないことから、マイペースで悠々と農作業ができる。自然は人間に従順であり容易に征服できる。人間の意志による自然の変化への予測と計算ができる。これが西洋の合理主義の育った土壌です。ヨーロッパの風土は人間を自然の突然の猛威で脅かすことはないが、しかし一方では、何もしないで自然の恵みで生きられるほど自然は豊かではない。地中海沿岸を除くアルプス以北では、土地は痩せており、夏は日本の秋程度の気温で冬季は半年も続く。平地が多く、開墾が容易であり、ほとんど手を加えることなくいつまでも使える。人間は自然に対して論理的に立ち向かい、これを支配できる。ヨーロッパ農業は、遊牧から変化した牧畜と主に麦作です。麦作は、稲作と比べれば楽です。水の管理がいらぬ。種をまけば、収穫を待つだけで、定住は必須ではありません。

マイペースで自由に生活設計できるとなれば、個人が「自由」と「自立」を求めるのはごく当然であり、また、そうすることが可能でもあります。他人のそれを是認していくか、他人のことには干渉しないかです。それなくしては自分も生存できない。遊牧から牧畜へと移行したが、遊牧民は個人行動が原則である。多人数の集団で移動すれば、十分な草がなければ、羊は死んでしまう。これが個人主義の基本である自立心を養成したのです。

草のあるところに移動し、羊が草を食い尽くせば、次の草原に移動する。そこに行ってみたら先に誰かが羊に草をくれているかも知れない。そんな時には、相手と交渉して、自分の羊にも草をくれられるようにしなければならない。交渉のためには、言葉が大切であります。英語で、遊牧民を‘nomadic people’と言いますが、nomadicには「おしゃべりな、多弁な」という意味もありますが、このためでしょうか。

【英国人と日本人】 同じ小国土の島国である日本とイギリスは対照的であります。昔から稲作を中心とした農耕文化の日本と牧畜や畑作(麦作)を中心とした農耕文化の英国の国民を比較すると、日本は集団指向社会であるのに対して、イギリスは個人主義の典型的な社会です。

自分がこうした方がよいと思えば、その人にそうするように忠告したり、さらに高じて集団で無理やりそうさせようとするのは、全く日本人的です。「～した方がよい」had better～を日本人はよく使います。それは、日本人は、相手のために親切に忠告したつもりが、英国人にとっては、お節介です。親が、騒いでいる子供に対して、“Antony, you’d better be quiet.” と言えば、「アントニー、静かにしなさい」という命令であります。

イギリスでは、すべての人は経済学の効用理論どおりに行動すると言われます。効用理論では、すべての人はそれぞれ自分の効用関数(満足度)を極大にするように行動するものと仮定します。各自の満足度はどうして決まるかというと、その人の財物の持ち分によって決まる。効用関数を極大にするには、財物の数量を満足度が出来るだけ高くなるように所有すればよいこととなります。〈森嶋通夫『イギリスと日本』岩波新書29〉

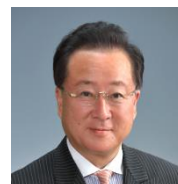
通常の人の場合、その人が感じる満足度は、その人の持っている数量だけでなく、他人(たとえばライバル)の持っている物の数量に依存する。「みんなと同じ」意識の強い日本人は、他人との数量比較に大いに依存する。(「何々さんも持っている」「何々さんも旅行に行くんだもの」「みんなが～なんだもの」と子供に言われると、親はそれを許すことになることが多いです。他人との数量格差が高じると恥や劣等感(格差意識)につながるのです。

ところが、イギリス人は特別で、他人が何を持っていようと、どんなに優れていようと動じない。ひたすら自分の感じる満足は自分のもっている物の数量だけに依存する。他人の持ち物には無関心である。自分も他人の財物には無関心だから他人もそうだろうと思っているのです。こうして全員がそれぞれの効用関数の独立性と相互の無関心性を認めると、お互いに干渉しなくなる。だから、イギリス人は他人に対してお節介がましいことを滅多に言ったりしなかった。(It's my business, not yours. これは私の問題、あなたには関係ないこと。)

【イギリスの北部の逸話】 一面草原の丘陵地帯を縫って走る道路があった。丘を超えて自動車が走ってきた。その時、羊飼いが羊の群れを連れて道路を横切っていた。車は止まれず、道から外れて草原を走っていき大きな木にぶつかってしまった。羊飼いは、詫びるでもなく気遣う言葉もなく、平然と行ってしまった。—これは、イギリス人が他人のことにいかに干渉しないかの一例です。

森田ガバナーエレクトからののお知らせ

第1回ガバナー補佐会議（12/1（土））のご案内並びに
クラブ会長エレクト宛のアンケートへのご協力のお願い



ガバナーエレクト
森田 高史(伊勢崎RC)

[第1回ガバナー補佐会議のご案内]

日時 2018年12月01日(土)PM2:30~PM5:00
場所 前橋問屋センター会館
対象者 ガバナー補佐・地区研修リーダー

※ 別途詳細なご案内をさせていただきますが、懇親会も予定しておりますのでご出席頂きますよう
よろしくお願いいたします。

（森田年度ガバナー補佐予定者）

第1分区	石川 直美	（前橋中央RC）	第4分区A	赤石 光雄	（太田中央RC）
第2分区A	坪井 良廣	（桐生RC）	第4分区B	鎌田 貴一郎	（館林東RC）
第2分区B	北原 康男	（伊勢崎中央RC）	第5分区	保坂 充勇	（沼田RC）
第3分区	梅山 哲	（高崎北RC）	第6分区		

[クラブ会長エレクト宛のアンケートへのご協力のお願い]

本年度12/15（土）のクラブ運営セミナーに先がけて、各クラブの会長エレクトの皆様
に事前にアンケートを実施させて頂いております。
回答期限は11月9日（金）ですのでご協力頂きますよう、よろしくお願いいたします。

森田ガバナーエレクト年度 地区主要行事予定表

2018	12	1	午後	土	第1回ガバナー補佐会議	前橋問屋センター会館
		15	午前	土	クラブ運営セミナー	伊勢崎ファミリア
		15	午後	土	第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	伊勢崎ファミリア
2019	2	2		土	地区委員会事業計画協議会（グループ毎）	伊勢崎ファミリア
		16	午後	土	地区チーム研修セミナー	伊勢崎ファミリア
	3	16~17		土~日	会長以外・幹事以外研修セミナー（PETS・SETS）	伊香保 福一
	4	13	午前	土	第2回ガバナー補佐会議	伊勢崎ファミリア
		13	午後	土	第2回ガバナー補佐・委員長合同会議	伊勢崎ファミリア
	5	12	終日	日	地区研修・協議会	境総合文化センター・ 伊勢崎ファミリア
	6	22	午前	土	第3回ガバナー補佐会議	伊勢崎ファミリア
22		午後	土	地区会員増強セミナー	伊勢崎ファミリア	

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

2018.10.12



ハイライトよねやま

Vol.223

10月
は
米山月間



台湾米山学友会から災害義援金が届きました

9月上旬、日本列島は台風21号と北海道胆振東部地震に相次いで見舞われ、各被災地のインフラは大きな打撃を受けました。台湾米山学友会では9月8日の役員会にて、全会一致で募金活動を決定。約3週間で28万6,500元(約105万円)を集めました。この義援金は、当会を経

由して、第2660地区と第2510地区に送られる予定です。同学友会の呉憲璋理事長は「今回の台風と地震による被害に我々は皆、大変驚き、直ちに募金を開始しました。台湾米山会一同、一日も早い被災地の再建と復興を心より祈っております」とのメッセージを寄せてくれました。

よねやま親善大使の紹介DVDが完成

今年7月に任命された第3代よねやま親善大使の紹介動画と、それを収録したDVDが完成しました。動画は、当会ホームページの『米山奨学会紹介ビデオ』のページから視聴できます。また、DVDをご希望の方には無料でお送りします。



すでにさまざまな地区の米山記念奨学セミナーなどに、よねやま親善大使をスピーカーとしてお招きいただき、ご好評を得ています。

よねやま親善大使の招へいをご希望の際は、米山記念奨学会事務局・広報担当までご連絡ください。

寄付金速報 — 米山月間へのご協力をお願いします —

9月までの寄付金は前年同期と比べて4.6%減(普通寄付金:0.06%減、特別寄付金:9.9%減)約1,850万円の減少となりました。

前年同期は、当財団設立50周年の記念寄付を多くいただいていたために上記の減少額となりましたが、7月からの累計額としては2014~

2016年度並みで、順調に推移しております。皆さまからのご寄付に深く感謝申し上げます。

10月は米山月間です。日本のロータリーが作り育てた独自の米山記念奨学事業を、引き続きご支援賜りますよう、よろしく願いいたします。

「紺綬褒章」の公益団体認定を受けました

このたび、当会は内閣府賞勲局より、公益のために私財を寄付し功績顕著なる方々へ授与される「紺綬褒章」の公益団体認定を受けました(平成30年9月12日付)。これにより、本年9月12日以降、個人では500万円以上、法人・団体等は1,000万円以上を当会にご寄付いただき、定められた条件を満たす場合に、紺綬褒章授与申請の対象となります。

ご寄付を複数回に分けて分納される場合も、あらかじめお申し出をいただいた場合には、申請の対象となります(分納期限の制限はございません)。詳しくは米山記念奨学会事務局までお問い合わせください。

※認定日(平成30年9月12日)以前のご寄付については申請の対象外です。分納分に含めることもいたしかねます。何とぞご了承ください

4年目を迎えた山の小学校支援 — 上海 —

上海を拠点とする中国米山学友会が、甘肅省臨洮県の苟家山小学校へ奉仕活動を実施しました。同県県長を務めていた学友、柴生芳さんの逝去をきっかけに始まった同校への支援も今年で4年目。これまでに、図書室やパソコン、浄水設備の寄贈などを行っています。

今年は9月2～3日にかけ、劉京榕前会長、



楊永平副会長、周峰幹事の3人が遠路はるばる山岳地帯にある同校を訪問し、先生から子どもたちの日常をヒアリングしたり、子どもたちと遊びながら交流したほか、各学年から選抜された前期期末試験優秀者計18人の児童に奨学金を手渡しました。加えて、難病で闘病中の子どもへ特別支援金を授与しました。平日は教師として、週末は自宅に戻って畑仕事と、休む間もなく働く先生方にも保温マグボトルをプレゼントしました。

今後、同学友会では、10月でも最低気温が0℃以下となる冬季の暖房設備や、土砂崩れによってたびたび寸断される道路の問題について検討し、子どもたちの教育環境をさらに整えていきたい、と話しています。

交流を通じて深める“実感と理解” — 第2590地区 —

4月採用の米山奨学生にとって、約半年が過ぎました。この間、各地区では、奨学生に日本文化やロータリーへの理解を深めてもらおうと、地区米山記念奨学委員会や学友会の主催でさまざまなイベントが企画されています。

第2590地区（神奈川県横浜市・川崎市）では9月1日、恒例の日帰りバス旅行を実施。米山奨学生や学友、世話クラブのカウンセラーや会長など、総勢約120人が参加して、国営ひたち海浜公園の散策とメロン狩りを楽しみました。同地区は1995年度以降、ほぼ毎年、個人平均寄付額全国1位で、会員に占める特別寄付者の割合も全国4位の高さですが、「このような地道な交流の積み重ねが当地区の寄付文化を支えています。バス旅行にはカウンセラー以外

のロータリアンやガバナー補佐にも多数ご参加いただき、奨学生と一日ゆっくり過ごして米山記念奨学事業を実感しながら、さらに理解を深めていただいています」と、同地区米山記念奨学委員長の一楽祥子氏は語ります。また、実行担当の地区米山学友委員長 楠美憲輔氏も「この事業の目的は人材育成であり、寄付はそのための“生みの親”です。今後は学友の育成面にも力を入れて、良い循環をつくっていききたい」と話してくださいました。



～ 海外米山学友会総会のご案内 ～

韓国 2018年11月17日(土) 17:00～

会場：ソウルパシフィックホテル 2階 南山ホール
申込：yoneyama@hanmail.net へ(締切:10月31日)

台湾 2018年12月1日(土) 受付 14:30～

(総会 15:00～、懇親会 18:00～)

会場：サンライズゴルフクラブ(桃園揚昇高爾夫球場)、申込：rotary_yoneyama@yahoo.com.tw へ

【その他 日程確定分】

- ・マレーシア：
2019年2月24日(日)
- ・ミャンマー：
2019年3月3日(日)

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281

E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

ガバナー事務所よりお願い

ガバナー月信に関して

- 原稿の締め切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付しガバナー事務所 miyauchi@rid2840.jp まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締め切りは、毎月 15 日です。（15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。）新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。
- この月信のPDFデータを印刷して、クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。よろしくお願いいたします。

表紙写真解説：旧二業見番組合事務所

場所・概要

二業とは芸者さんの置屋と料亭のことで、見番はそれらの取次ぎや料金の精算、取り締まりをしたところでした。1階は事務所、2階は芸者さんの稽古場であった舞台付き36畳の大広間があります。現在は本町二丁目東区民会館として地域の方に利用されています。この二業見番は、木造建築物として全国で数か所しか残っておらず、非常に文化的価値が高い建物です。平成28年に国の登録有形文化財に指定されました。